

## 看護実践能力の測定に関する質問紙

## 記入にあたってのお願い

はじめに、この質問紙は4ページからなり、20分程度で答えられるような質問量に設定してあります。

- ・ 最初から順にお答えください。
- ・ 各質問に対しては、なるべく最初に頭に浮かんだ思いにそって回答してください。
- ・ 記入した質問紙は、質問紙が入っていた封筒に戻し、しっかり封を閉じて所定の箱に投函してください。それでは、よろしくお祈いします。

・ まず、あなたご自身のことについてお尋ねします。当てはまるものに をつけてください。

1	性別はどちらですか。	女性	男性				
2	あなたの年齢(歳)を教えてください。	20	21	22	23	24	25以上
3	就業経験はありますか。	あり	なし				

・ 患者さんのケアをするにあたり、次の事柄について、自分はどの程度できるか答えてください。

1 : まったくできない    2 : あまりできない    3 : どちらともいえない    4 : できる    5 : よくできる

1	患者の意思決定を尊重し、自己決定ができるように援助する	1	2	3	4	5
2	自分の専門的な判断と行動に対する説明義務や責任を持つ	1	2	3	4	5
3	看護実践には患者の生命を脅かす危険性もあることを認識し行動する	1	2	3	4	5
4	患者に余分な苦痛や不安を与えないよう努める	1	2	3	4	5
5	看護ケアの機会を、患者との信頼関係を深める機会とするよう努める	1	2	3	4	5
6	チームメンバーや他職種の人に対し自分の考えや意見をきちんと言う	1	2	3	4	5
7	チーム医療の一員として、互いを信頼し、受け入れ、尊敬しあう雰囲気をつくる努力をする	1	2	3	4	5
8	わからない事があれば、文献を調べるなど学習に努める	1	2	3	4	5
9	患者理解に必要な情報は、いろいろな方法(観察・測定・インタビュー)で収集する	1	2	3	4	5
10	集めたデータは整理して記録し、いつでも利用できるようにしておく	1	2	3	4	5
11	情報を基準値や平常値と比較して判断する	1	2	3	4	5
12	患者の状態を、成長発達段階を踏まえて分析・判断する	1	2	3	4	5
13	患者の現在のニーズを把握し、看護計画を立案する	1	2	3	4	5
14	予測される患者の状態の変化を踏まえ、看護計画を立案する	1	2	3	4	5
15	看護ケアは手順を踏んで行う	1	2	3	4	5
16	計画外の状況にも的確に判断し対応する	1	2	3	4	5
17	患者の状態・状況に応じた、適切な指導・教育を行う	1	2	3	4	5
18	実施結果に対する評価を生かし、看護計画の修正・追加を行う	1	2	3	4	5

19	人それぞれの心情、生活背景、価値観、宗教的信念などを尊重する	1	2	3	4	5
20	患者のプライバシーを尊重する	1	2	3	4	5
21	自分の信念と価値観がケアの質に影響する可能性を認識する	1	2	3	4	5
22	患者が自己表現できるよう援助を行う	1	2	3	4	5
23	いつも患者の体調を気遣い、関心をもっていることを伝える	1	2	3	4	5
24	報告・連絡・相談はタイムリーに行い、効率よい働きを心がける	1	2	3	4	5
25	チーム医療の一員としての役割と責任を自覚し、他のメンバーと協働する	1	2	3	4	5
26	建設的な注意や助言を受け入れ活用する	1	2	3	4	5
27	個人および専門職としての成長のために学習の機会を活用する	1	2	3	4	5
28	患者だけでなく、家族その他の医療提供者など周りの者からも情報収集を行う	1	2	3	4	5
29	原因、誘因を踏まえて看護問題を挙げる	1	2	3	4	5
30	身体面・心理面・社会面を把握し分析・判断する	1	2	3	4	5
31	看護計画には、ケアに関する患者の希望や決定をできる限り取り入れる	1	2	3	4	5
32	患者およびその家族と共有できる、現実的な目標と計画を立てる	1	2	3	4	5
33	患者がニーズを訴える際は、考慮して直ちに看護計画に取り込む	1	2	3	4	5
34	安全・安楽・自立を考慮して援助する	1	2	3	4	5
35	治療・処置・検査を受ける患者に必要な援助を行う	1	2	3	4	5
36	患者および家族に、留意すべきリスクとその対応・対策について教える	1	2	3	4	5
37	実施結果を基に看護目標の評価を行う	1	2	3	4	5
38	人の生命・尊厳を尊重し、患者の人権を擁護する	1	2	3	4	5
39	自分の役割を理解し、能力と責任の範囲を認識し行動する	1	2	3	4	5
40	看護行為の前にはよく説明し患者の了解をとる	1	2	3	4	5
41	援助が必要なときは、援助を求める	1	2	3	4	5
42	学習の成果を自らの看護実践に活用する	1	2	3	4	5
43	収集データからのアセスメントに基づいて看護問題を導き出す	1	2	3	4	5
44	看護問題の優先順位を考え計画を立てる	1	2	3	4	5
45	患者特性や状況を考慮した、個別化した看護計画を立てる	1	2	3	4	5
46	根拠に基づいた看護援助を行う	1	2	3	4	5
47	患者の家族に、患者のニーズについて教える	1	2	3	4	5
48	効果や結果の予測を踏まえて、ケアを実施する	1	2	3	4	5
49	予測される患者の容態を踏まえて分析・判断する	1	2	3	4	5
50	急性期の状態にも対応できる技術（吸引、気管チューブのケア、IVHの取り扱い、包帯交換、ドレナージのケアなど）を理解し、指導のもとに実施できる	1	2	3	4	5
51	医師、その他の医療チームのケアの実施を連携・調整する	1	2	3	4	5
52	活用できる資源（人材、物、システムなど）を考慮した看護計画を立てる	1	2	3	4	5

.患者さんのケアをするにあたり、本学で学んだ次の事柄について、どの程度理解できたか(わかったか)を教えてください。

1 : まったくわからなかった      2 : あまりわからなかった      3 : どちらともいえない  
4 : わかった      5 : よくわかった

1	安全・安楽を配慮したケアの実施	1	2	3	4	5
2	関連図による全体像を踏まえた問題の抽出方法	1	2	3	4	5
3	患者の希望や反応の確認	1	2	3	4	5
4	評価を生かした計画の修正・追加	1	2	3	4	5
5	結果を基にした看護目標の評価	1	2	3	4	5
6	情報収集の方法	1	2	3	4	5
7	情報収集すべき内容	1	2	3	4	5
8	問題の優先順位の決定	1	2	3	4	5
9	基準値や平常値と比較するなど、情報の分析の仕方	1	2	3	4	5
10	家族も対象とした看護	1	2	3	4	5
11	根拠のあるケアの実践	1	2	3	4	5
12	病態生理を踏まえた情報の分析	1	2	3	4	5
13	情報の整理の仕方	1	2	3	4	5
14	発達段階を踏まえた情報の分析	1	2	3	4	5
15	治療・検査を受ける患者に関する理解	1	2	3	4	5
16	社会資源の活用	1	2	3	4	5
17	ケア実施前のアセスメントの必要性	1	2	3	4	5
18	患者の特性を考慮した援助方法	1	2	3	4	5
19	病態・症状に応じた観察の必要性和方法	1	2	3	4	5
20	ケア実施後の評価	1	2	3	4	5
21	治療・処置を受ける患者の援助についての留意点	1	2	3	4	5
22	事故防止策	1	2	3	4	5
23	感染防止策	1	2	3	4	5
24	廃用性症候群防止策・褥創予防策	1	2	3	4	5
25	患者指導・教育についての留意点	1	2	3	4	5
26	看護師として行ってはいけないこと	1	2	3	4	5
27	守るべき患者の権利	1	2	3	4	5
28	看護師として行わなければいけないこと	1	2	3	4	5
29	まず患者に関心をむけることの重要性	1	2	3	4	5
30	看護師の方から患者に声をかける大切さ	1	2	3	4	5
31	チームで行う医療に対する理解	1	2	3	4	5
32	患者の自己表現を助ける働きかけ	1	2	3	4	5
33	チームメンバーとしての行動のとり方	1	2	3	4	5

・ 次の事柄について、どの程度あなたにあてはまるかを答えてください。

1 : まったくあてはまらない    2 : あまりあてはまらない    3 : どちらともいえない  
4 : あてはまる    5 : よくあてはまる

1	自分を客観的に見つめることができた	1	2	3	4	5
2	看護を学ぶことに喜びや意欲を持ち続けることができた	1	2	3	4	5
3	自分の良い点と課題である点の両方を認識して努力することができた	1	2	3	4	5
4	自己の成長を感じ、よりいっそう向上をめざすことができた	1	2	3	4	5
5	学んだ学習方法を実際に活用することができた	1	2	3	4	5
6	学習の仕方が分かった	1	2	3	4	5
7	自分が尊重されていると感じ自分自身の大切さに気づくことができた	1	2	3	4	5
8	看護をすることにやりがいや喜びを感じる事ができた	1	2	3	4	5
9	理想に向かって看護したいという気持ちになった	1	2	3	4	5
10	自分がなりたいと思う看護(師)のモデルを見出すことができた	1	2	3	4	5
11	看護とはこうあるべきだという理想を持つことができた	1	2	3	4	5

以上です。

質問に答えていただきまことにありがとうございました。

では、最初にお願ひしたように、記入した質問紙は質問紙が入っていた封筒に戻し、しっかり封を閉じて 所定の箱に投函してください。

それでは、よろしくお願ひします。

なお、この質問紙について、

なにかありましたら、お手数ですが、下記へご連絡ください。



静岡県立大学短期大学部 看護学科成人看護学  
鈴木 琴江

〒422-8021 静岡市駿河区小鹿2丁目2番1号  
電話・FAX 054-202-2659

E-mail [k-suzuki@bambi.t.u-shizuoka-ken.ac.jp](mailto:k-suzuki@bambi.t.u-shizuoka-ken.ac.jp)

ご協力まことにありがとうございました。